

経営比較分析表（平成29年度決算）

北海道 湧別町

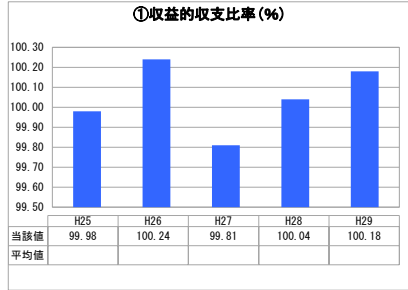
| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|-------------|--------|--------------------------------|
| 法非適用 | 下水道事業 | 特定環境保全公共下水道 | D2 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 該当数値なし | 68.33 | 87.58 | 3,397 |

| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 9,066 | 505.79 | 17.92 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 6,109 | 2.98 | 2,050.00 |

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



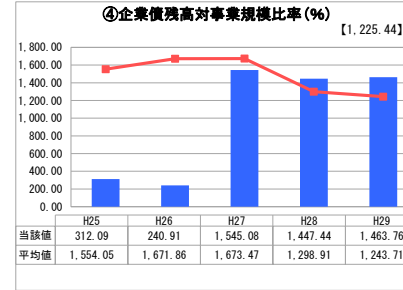
「単年度の収支」



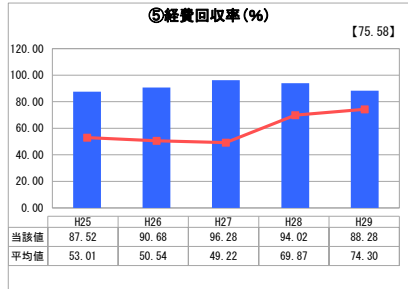
「累積欠損」



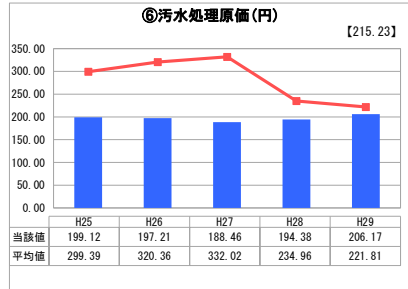
「支払能力」



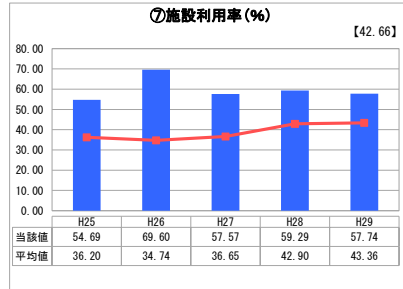
「債務残高」



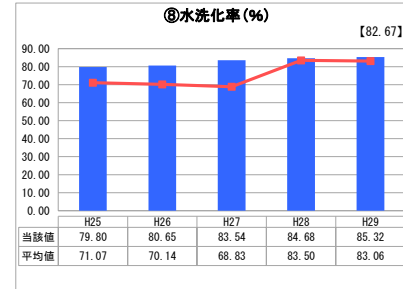
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

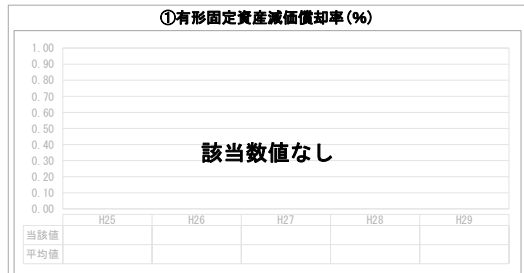


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

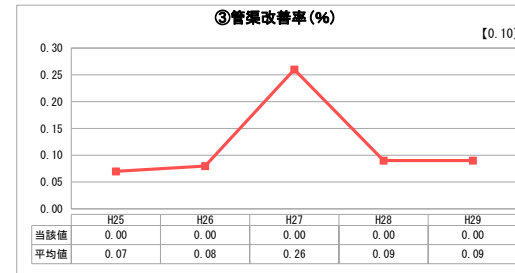
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、ほぼ100%となっていますが、一般会計からの繰入金により均衡を保っています。

その他の項目については、概ね平均より良好な経営状況を維持しており、水洗化率についても年々増加していますが、更に水洗化の普及向上による使用料収入の増加、コスト削減等の経営改善を進め、独立採算性を高めることを目指しています。

2. 老朽化の状況について

下水道終末処理場は、平成14年度供給開始をしており、平成28年度に策定した長寿命化計画により計画的に更新していく予定となっています。下水道管渠は耐用年数前であるため更新予定はありませんが、カメラ調査等の定期的な維持管理を実施します。

平成31～32年の2ヶ年で処理場及び管渠のストックマネジメント計画を策定し、計画的な更新を行います。

全体総括

本町の下水道事業については、処理区域の整備がほぼ終了しており、今後は施設の維持・更新に重点が置かれていくことになります。

平成28年度に長寿命化計画を策定し計画的な更新を進めていくとともに、同年に下水道事業経営戦略を策定し平成29年度から運用を開始しています。

一般会計からの繰入金を減少させ、更なる経営改善を図るため公営企業法の適用についても検討しなくてはなりません。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。